

# 学校

## 習志野市教育委員会 教育だより



<http://www.city.narashino.lg.jp/kosodate/kyouiku/gakkyodayori.html>

習志野市鷺沼 2-1-1 電話 047-451-1132

平成 29 年 5 月 24 日発行 NO.83



今回で 11 回目になる全国・学力学習状況調査が全国一斉に実施されました。小学校 6 年生と中学校 3 年生が肅々とした雰囲気の中、とても真剣な表情で臨みました。本号では、これまでの調査結果に見られる学力向上のために必要な内容や本市での取組などについて紹介します。

この結果を受け教育委員会や学校は、児童・生徒の課題を明確にすることに加えて一人一人の能力に応じた指導の手立てを講じていきます。

(写真は第二中学校の様子)

### 第 83 号 目次

- ◆朝食と学力・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  - ◆家庭学習の習慣と学力／学校での実践第一中・・・ 3
  - ◆学校での実践第五中・能動的な校内研修・・・・・・ 4
  - ◆学校での実践大久保小・藤崎小・・・・・・・・・・ 5
  - ◆トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 習志野高等学校／小学校陸上大会／ようこそ新庁舎へ



ありがとう  
教育委員会旧庁舎

# 朝食と学力

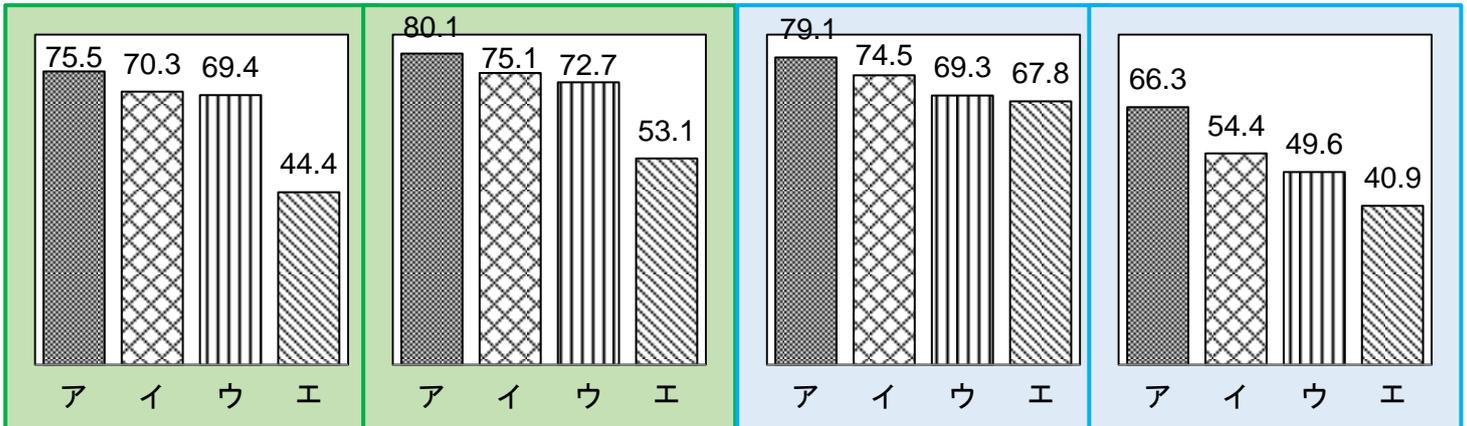
全国学力・学習状況調査では、85項目に及び質問紙調査をしています。その中の最初の質問は、小学校・中学校ともに「朝食を毎日食べていますか」です。朝食と学力との関係について考えてみました。

小学校 国語

算数

中学校 国語

数学



ア ■ 食べている イ ▨ どちらかといえば食べている ウ ▤ あまり食べていない エ ▩ 全く食べていない  
(数字は「知識」に関する問題 A の平均正答率です。)

## 朝食と学力について

秋津小学校 栄養教諭 高橋 さゆり

「朝食を食べている子どもは学力が高い」という報告が「全国学力・学習状況調査(文部科学省)」で出されています。その理由は栄養補給だけでなく、朝食に関わる様々なことが、学力向上につながっていると考えられます。

■ 食べる行為が活動のスイッチ・・・咀嚼することで顎を動かし、脳を刺激します。食べものが体内に入ると胃腸が動き出し、栄養がエネルギーに変わり、体温も上がります。また、食べるために指先を使い、香りを感じ、味わうことで、脳だけでなく体全体が目覚めます。

■ 生活リズムは朝食から・・・きちんと用意された朝食は、子ども達の心と体の安定を育みます。1日3回の食事のリズムが生活のリズムを作り、より良い成長を促します。

安定した心は学力向上につながります。朝食を食べている子どもは、運動能力が高いという報告もあります。子ども達には、日々の食育活動をとおして、朝食の大切さを伝えています。

※「全国学力・学習状況調査(文部科学省)」農林水産省 HP : めざましごはん・めざましデータBOXより参照



4年生の食育指導

## 朝食指導にこめた願い～学力・体力・気力アップをめざして～

第七中学校 栄養教諭 植草 真由美

本校では、食に関する指導の年間指導計画において、5月に「朝食の大切さ(食事の重要性)」を位置づけています。5月は1年生にとって、部活動の朝練習への本格的な参加、初めての定期テストや体育祭練習などがあり、朝食を食べて登校することの大切さを理解してほしいとの考えからです。

食育だより5月号では、朝食について特集し、平成28年度の全国学力・学習状況調査の「朝食の摂取と平均正答率」のグラフを載せ、朝食を毎日食べる人は、食べないことがある人に比べ、正答率が高いことを家庭にもお知らせしました。現在、下図の教材を使い、給食時間を利用して学級担任と連携し、指導を行っているところです。

指導をとおし、生徒自らがよりよい朝食になるように留意し、食べることが出来る力を育てたいと考えています。そして、生徒たちが持っている能力を十分に発揮するとともに、さらなる学力、体力、気力の向上を願っています。

Breakfast=空腹(fast)を断ち切る(break)

**朝ごはん** 成長するためにも大切!

脳にエネルギー  
集中力が高まる  
体温を上げる  
排便を促す

しっかり食べると良いことがいっぱい!  
血流をよくする  
体内時計をリセット  
熱中症の予防

**学力アップ!**  
**気力アップ!** **体力アップ!**

給食時間を利用して学級担任と連携して指導

# 家庭学習の習慣と学力

習志野市総合教育センター研究発表会で報告された家庭学習のポイントを3つ紹介します。

研究主題「自主的な家庭学習の習慣を子ども自身に身につけさせる研究」～学力向上を学校と家庭で連携して目指す取組～を掲げ、小学校と中学校からそれぞれ3名ずつの先生方の御協力をいただきながら、具体的な実践を通じた研究をしています。

## ①子どもに応じた課題を与える

家庭学習が大切なことはわかっているが、なかなか自主的かつ計画的に進められないといった子どもの実態から、個々の学習能力、習い事や塾、部活動などとの配慮が必要です。

## ②校内協力体制（全校、学年）の確立

家庭学習は、学級より学年、学年より学校全体で行う方が、集団で取り組むことでの相乗効果により、子どもの力（自主性、計画性）を伸ばすことができると考えられます。

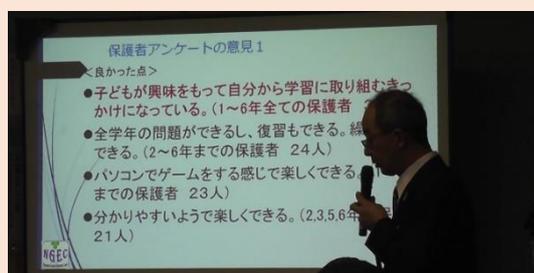
## ③家庭や学級での賞賛の場を設ける

家庭で学習する子どもへの家族からの励ましや協力とともに、学級においては、短学活や掲示等で互いの頑張りを認め合ったり、工夫や努力を学び合ったりする機会を設け、子どもの気力を向上させます。

さて、本年度のセンター研究協力員は、渡邊先生（鷺沼小）、金丸先生（藤崎小）湯浅先生（袖ヶ浦西小）、関川先生（第二中）、阿比留先生（第四中）神舎先生（第五中）です。5月2日の第1回協議会では、これまでの成果と課題を踏まえて、より具体的な提言性ある研究を目指して各委員からとても建設的な意見が出されました。



自主学习ノートを紹介する教育長



インターネットを活用した成果



小学校の協力員

中学校の協力員

## 学校での実践 第一中

学力向上の取り組み 第一中学校 研究主任 草間 英昭

全国学力・学習状況調査、各種学力テスト等の結果から本校生徒の全体的な学力は良好な傾向です。しかし、一人一人に目を向けると、そこには支援を必要とする生徒がいるという現状もあります。

そこで、『学習のてびき』として各教科の家庭学習の仕方をまとめて配付したり、基礎学力の定着として基礎学力テスト、定期テスト前の質問教室、提出物未提出者への特別指導、長期休業中の補習を実施したりしてきました。今年度からは全校一斉に帰り学活で5分間学習を実施し、基礎学力の向上はもちろん、落ち着いた雰囲気での帰り学活を開始するという効果も見られるようになってきました。また、教師の指導力向上として教科部会を重要視し、教材研究やベテランから若年層への伝承の機会としています。

課題は、各種調査や保護者へのアンケートから「学習意欲の向上」と「豊かな心を育てる」ことです。今後も本校の2つの大きな課題として研究に取り組んでいきます。



学年別に色分けされた『学習のてびき』



研修会の冒頭「5月9日は黒板の日」という小松崎校長先生からのお話がありました。まさに“機を見るに敏”の研修が加藤指導主事を招へいして実施されました。

当日はその意義から始まり、全校の先生が日々の実践を振り返りながら、すぐに生かせる板書の在り方について演習等を交えた参加型の内容に主体的・能動的に臨む姿がとても印象的でした。

あっという間に過ぎてしまった1時間余りの研修の中身は、「板書の意味4本柱」「板書の書き方イロハ」「黒板の基本レイアウト」「五中生約100名に聞きました」「加藤の体験的实践」「板書とノート指導」「板書とは」「究極の上達法は」といった、教師であれば経験年数や専門教科を問わず、どれも聞いてみたいし、聞く価値があるものばかりでした。「岩に刻み込むように書くこと」を心がけたり、「黒板消しの大きさに基づいた文字の大きさ」を意識したり、さらに、「板書を消す際の工夫やこつ」など、板書のポイントが濃縮された内容については筆舌に尽し難く、その詳細は、百聞は一見に如かず。ぜひ各学校でも実施してみたいはかがでしょうか。



わかりやすい板書とは…

### 研修内容の例

板書（右上の写真）を見て気付いたことを一人一人がプリントに記した後、グループで話し合い、代表の発表により全体でシェアします。発表内容を観点ごとに整理し「板書の意味」を学びました。

また、その場で板書（右下の写真）されたことについて、生徒目線でもよさや改善したほうが良い点などについて発表し合い、「黒板の基本レイアウト」について学びました。「板書とは？」といったことについては、「1時間の作品」「学習（学び）の足跡」「財産である」「授業力への要」「授業の柱」「発見と理解」「人生」といったそれぞれの思いや考えが出されました。

聖徳太子はどのような国づくりを目指したのだろうか。  
聖徳太子 6世紀の末 推古天皇の摂政として天皇の政治を助けた。  
7世紀の初め、冠位十二階の制度 仏教や儒教の教えをもとにした十七条の憲法。小野妹子ら遣隋使。政治制度や仏教など熱心に学んだ。

この板書をよりよくするには？



他の先生方の板書の仕方や教科ごとの板書の工夫などについて知ることができて勉強になりました。今日学んだことを自分の授業改善に少しずつ役立てていきたいと思いました。

神舎 雄人 教諭（理科）

子どもたちの生の声を知ることができてとても参考になりました。アンケートから学年によって要求が違うことが改めて分かり自分の授業スタイルや板書の見直しをしたいと思います。

林 孝子 教諭（英語科）

研修の感想を伺いました

書き方や書く姿勢など、自分の板書を改めて見直さなければと思いました。いろいろなパターンの板書の仕方を知ることができてとても勉強になり、自分でも試してみたいと思いました。

青木 久美子 教諭（国語科）

経験を積んだことで自分なりの板書スタイルができつつありますが、研修を受けて新しい発見や今後生かしていきたいことが出てきました。これからも生徒にわかりやすい板書を目指していきます。

井合 威郎 教諭（社会科）

## 学校での実践 大久保小

学力向上のための取り組み

—日常的な言語生活の耕し—

**大久保小学校 教務主任 徳武 義裕**

本校では、基本的な言葉の力を付けるために、様々な場面で「読む」「書く」「話す・聞く」活動に取り組んでいます。いくつかの取り組みを紹介します。

まず、週2回、朝の15分間のステップタイムの活用です。名文や詩、古典等の音読や書き換え、創作等に取り組んでいます。

次に、年に6回行われることばの集会の実施です。ステップタイムを中心に取り組んできた音読・群読を、学年ごとに全校の前で発表します。発表後は子ども同士が互いに感想を述べる場面を設けています。

加えて、普段の授業中は、単語ではなく文の形で発表させるなど、正しい日本語で話すように意識させています。その際、発表する人の方を向いて聞くようにしています。

本来の学力とは、実生活において役立つ力であると考えています。子どもたちの言語生活を日常的に耕すことで、「生きて働くことばの力」を身に付けさせたいと考えています。



ことばの集会で群読する子どもたち

## 学校での実践 藤崎小

学力向上のための取り組み

**藤崎小学校 教頭 尾崎 秀雄**

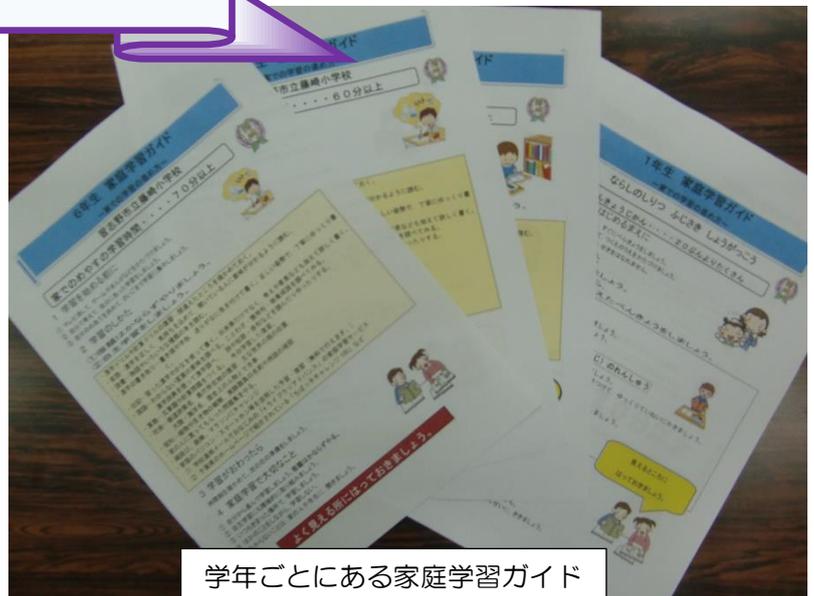
藤崎小学校では、学力向上に向けた取り組みとして、学校と家庭が連携し主体的に学習し、より確かな力を付けることを目指しています。

これまでは「家庭学習のガイド」を子ども向け及び保護者向けに配布し、どのようなことをどのくらい行えばよいかを提示してきました。平成28年度からは、パソコンを活用した家庭学習の取り組み

についても具体的に啓発してきました。学校で学習した内容や宿題との関連を具体的に示すことで、自主的に家庭学習や自学に取り組めるようになってきています。

また、日々の学習でより確かな力を付けるために、推進委員を中心として「学力向上推進計画」を作成しています。学習用具の準備のしかたや、学習中の姿勢、発言のしかたまで、全校で共通した目標を立て、月1回の推進委員会で取り組みに対する評価や目標の検討を行っています。

学力向上のための特効薬はありません。確かな学習習慣を継続的に身に付けさせていくために今後も保護者と連携し学力向上を目指して取り組んでいきたいと考えています。



学年ごとにある家庭学習ガイド



## 第3回 3×3日本選手権大会 男子バスケットボール部

開催期日・会場  
平成 29年 3月 24日～25日 東  
京都大田区総合体育館

顧問 黒田 裕



第3回3×3日本選手権大会が東京都で行われ、男子バスケットボール部が千葉県代表として出場しました。24日に行われた予選リーグでは、群馬県（ジヤスティス前橋）、福岡県（DAIICHI）、大阪府（nks-405）と対戦しました。惜しくも大阪府代表に敗れ、2位での決勝トーナメント進出になりましたが、インターハイにも出場している秋田県（平成）などの強豪を破り決勝に進むことができました。決勝は茨城県（アルポラーダユース）と対戦しました。相手はクラブチーム

で経験豊富で苦しい場面もあり、何とか食らいつくも最後には力尽き、準優勝という形で日本選手権を終えました。

多くの方々の応援は本当に心強く、最後まで諦めず戦うことができました。有難うございました。

この結果から、3×3 U-18 日本代表に佐々木雄哉（現3年生）が選出され、5月にマレーシアで開催されるFIBA3×3 U-18 Asia Cup 2017に出場してきます。日本代表としての自覚と責任をもち貢献できるように頑張ってきます。



右から2人目が佐々木選手

## 小学校陸上大会



代表児童による選手宣誓

競技結果	男子	女子	総合
優勝	谷津小	大久保小	谷津小／東習志野小
準優勝	東習志野小	東習志野小	
3位	鷺沼小	津田沼小	大久保小

薫風さわやかな5月9日、実花小学校の運動場で開催された陸上大会では、全力を尽くして臨む力強い選手やそれを一生懸命に応援する仲間の姿がたくさん見られました。これまで取り組んできた練習過程で学んだことを今後の生活に大いに役立てたいものです。

長縄8の字跳び：入賞	
1位	東習志野小 6-1 (430回)
2位	東習志野小 6-2 (403回)
3位	鷺沼小 6-3 (383回)
4位	谷津小 6-3 (362回)
5位	向山小 6-1 (345回)
6位	谷津小 6-4 (344回)

## ようこそ新庁舎へ教育委員会は2階です



4月30日に新庁舎の竣工式が行われました。

各課では広々とした受付カウンターで来所者をお迎えしています。これまでより明るく開放感のあるフロアで業務を行っています。

### 編集後記

学力向上に対し各学校や先生方が創意工夫して取り組まれていることを再確認しました。国や県、市教委においても様々な資料や手立てを示しています。これらの貴重な材料を有効活用できるような仕組みを構築できれば、その効果は相乗的に大きくなるという思いを強くしました。本号が効果的な実践のための一助になれば幸いです。